

### ・(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 女性センター管理運営事業
2. 社会教育総務費（各種社会教育団体への補助）
3. 野々市市成人式
4. 生涯学習推進事業(学習情報提供事業)
5. 生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)
6. 生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)
7. 生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)
8. 青少年活動支援事業
9. 少年育成センター運営事業
10. 青少年センター管理
11. 野々市市立志式
12. 放課後子ども教室推進事業
13. 公民館施設管理費
14. 公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)
15. 公民館学習活動支援事業(寿大学事業)
16. 公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)
17. 公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)
18. 図書館運営・管理事業
19. 読み聞かせ推進事業
20. 子どもチャレンジ活動支援事業

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4301	事務又は事業の名称	女性センター管理運営事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が一般市民の方を対象に		事業の目的	女性の社会参画支援事業の実施と活動を支援・推進する拠点としての施設管理。						
事業の内容	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動。		平成24年度 活動実績	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	施設利用者	人	12,000	10,923	8,054	12,000			
		サークル数	団体	30	25	25	23			
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	6,671	47,053	6,660					
	事業費計 (A) (千円)	6,671	47,053	6,660						

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	施設のキャパシティからするとサークル活動を推進する余地があると考え、活動の推進を図ります。改修工事により、大幅な施設管理に係るコスト削減が図れる。
	A	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		女性の社会参画や自主的活動の推進。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4302	事務又は事業の名称	社会教育総務費(各種社会教育団体への補助)			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	市が一般市民及び市内勤務の方を対象に実施		事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。				
事業の内容	年4回の社会教育委員会を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付。		平成24年度活動実績	◇社会教育委員会議の開催 4回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会65万円 スカウト育成会 55万円 子ども会 100万円 PTA連合会 75万円				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	区分		H23		H24		H25予算	
	事業内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)		4,241		4,267		4,648
事業費計 (A) (千円)			4,241		4,267		4,648	

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	社会教育の充実のため各関係機関の代表や学識経験者の意見を聞くことは有効である。生涯学習社会の実現のため、社会教育団体の育成は重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		各社会教育団体の自立した運営ができるよう推進する。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4303	事務又は事業の名称	野々市市成人式			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が成人者に		事業の目的	新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。			
事業の内容	成人式の式典開催、実行委員会の設置		平成24年度活動実績	アトラクション(20年のあゆみビデオ上映)、式典、記念写真撮影、実行委員会運営(平成25年1月13日(日)開催 対象者774人 参加者300人)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	参加率	%	60	41	39	50	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	869	816	821			
事業費計 (A) (千円)	869	816	821					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	市として成人を祝うとともに、新成人が実行委員会を運営することによりまちづくりへの一助となっている。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	転入されてきた成人者にも喜んでもらえるような内容を検討する。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4304	事務又は事業の名称	生涯学習推進事業(学習情報提供事業)			所管	部	教育文化部	
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興					区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし						単独事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				事業の開始・終了年度	
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が一般市民及び市内勤務者へ		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援				事業開始
事業の内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館の来館者へ配布。		平成24年度活動実績	公民館サークル募集チラシを全戸配布、及び各公民館来館者用へ配布。				終了予定	** 年度
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	126	126	126	126	126	126	
事業費計 (A) (千円)	126	126	126	126	126	126			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
実施計画(今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシを全戸配布及び公民館来館者への配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシを全戸配布及び公民館来館者への配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシを全戸配布及び公民館来館者への配布</li> </ul>	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市外より転入された方など、交流の場や学びの場を求める方からサークル情報に関する問い合わせをよく受ける。公民館に行く機会がない市民にとってサークルの情報は得にくい。そのため市が関与し全戸配布することは必要性があるものである。また、住民の自主的なサークルの運営を支援することで、生涯学習の推進につながると考える。
	B	B			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	A3一枚(両面)に、公民館4館分と女性センター・青少年センター分の情報を載せるため1サークルあたりのスペースが小さくなる。そのため、文字が小さくならざるを得ず、見にくい。A3、2枚にするなどの文字を見やすくする改善が必要である。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4305	事務又は事業の名称	生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務	
	3 生涯学習社会の充実						ソフト事業	
	1 社会教育の充実						単独事業	
教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
事業の概要	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が一般市民及び市内勤務の方に		事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。			
	事業の内容	◇コミュニティ・カレッジ(市民の運営による教養講座) ◇マイ・タウン塾(町内会単位での講座) ◇ののいち ネット塾(金沢工業大学と市で協力運営するネット上の 学習サイト。市民が講師または受講者として学習に参 加) ◇公開講演会(放送大学と連携した公開講座)		平成24年度 活動実績	◇コミュニティ・カレッジ 12講座、延べ315人受講◇マイ・タ ウン塾 2町内会、延べ54人受講(4回から2回に減) ◇公開講演会2講座、44人受講◇ののいちネット塾 44講座開設			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	参加者数(コミュニティ・カレッジ、マイタウン 塾、公開公演会)	人	570	463	413	470	
事業のコスト	事業内 訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	463		233		240	
事業費計 (A) (千円)	463		233		240			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	より多くの方に参加していただくため、講座内容や形態について、社会の変化や市民ニーズを的確に捉えるよう改善していく。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		半数の開講時間帯を昼時間に変え、受講者の増加を試みた。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4306	事務又は事業の名称	生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市から市民及び近隣地域住民へ		事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。				
事業の内容	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。		平成24年度活動実績	・学びのサポーター登録数:50人。内3名が24年度に新規登録。 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各公民館で2講座ずつ実施(内1講座は定員に対して募集人数が多かったため2回実施)。158名参加。 「地域人材活用助成事業」市内小中学校で約61回実施。計3521名参加。・子どもカレンダー作成・配布。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加	人	3,000	3,785	3,679	3,700	
		学びのサポーター登録数	人	55	41	47	50	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	489	445	175			
事業費計 (A) (千円)	489	445	175					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	現状では公民館や小中学校での活用事業以外の単発でのサポーター活用実施件数が少ない。活用件数を増やす種、市HP・広報などで情報提供を増やしたい、また、データベースの登録内容の更新を随時行うことで、より使いやすいデータベースを作成していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	データベースの作成開始から、5年が経過し内容が古くなっている。随時、サポーターへの確認を行い、データベースを更新していく必要がある。サポーターの活動の場を広げることにより、市民への(サポーターの存在の)周知を図る。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4307	事務又は事業の名称	生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
				終了予定	**	年度		
実施根拠となる分野別計画	教育総合基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内保育園・小中学校に通う保護者を対象に実施		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域の希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化する中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長の支援する。				
事業の内容	◇家庭教育学級<PTA> ◇幼児家庭教育講座 ◇就学時子育て講座 ◇思春期子育て講座 ◇家庭教育サポーターの育成		平成24年度活動実績	◇家庭教育学級<PTA>小中学校 18講座776人◇幼児家庭教育講座…保育園 11講座335人◇就学時子育て講座…小学校の就学時健診 5講座513人◇思春期子育て講座…中学校の入学説明会 2講座430人◇家庭教育サポーター…保育園の「なかよしの日」で活動、回数55回(各園5回)、110人(のべ人数)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数	人	900	806	776	810	
		家庭教育サポーター人数	人	35	20	16	25	
事業のコスト	事業費	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	781		704		748	
事業費計 (A) (千円)	781		704		748			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実を図ることは、青少年の健全育成、明るい豊かな社会を目指すうえで、最も重要なことと認識されつつある。更に啓発する必要があると考える。
	B	B		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 家庭教育に対して関心の低い保護者に対応した施策が必要。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4310	事務又は事業の名称	青少年活動支援事業			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。				
事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。		平成24年度 活動実績	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根共同募金活動。研修会、交流会など。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数	日	20	13	14	15	
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数	人	30	16	13	10	
事業のコスト	区分		H23	H24	H25予算			
	事業内訳 財源内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	47	56	100			
	事業費計 (A) (千円)	47	56	100				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根共同募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根共同募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根共同募金活動。研修会、交流会など。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	本事業でのボランティア活動や社会参加活動は普段の学校生活ではなかなか体験することができない。また、子どもたちがそれらの活動を自発的に取り組むことで得られる福祉精神や意識は、地域社会の基盤づくりのためにも非常に重要であり、本事業は今後も継続したい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		会員数が減少傾向にあるため、活動を維持できるよう新規会員の獲得を図りたい。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4311	事務又は事業の名称	少年育成センター運営事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課		
総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務		
	2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり						ハード・ソフト事業		
3 青少年の健全育成					単独事業				
教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成								
行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
事業の概要	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内店舗に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、少年の非行を防止するとともに青少年の健全育成活動の推進を図る。				
	事業の内容	少年育成センター事業：青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。 青少年健全育成地域活動事業：地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。（“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託）		平成24年度 活動実績	少年育成センター事業：街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。 青少年健全育成地域活動事業：愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。携帯電話対策事業。（平成25年度より青少年健全育成地域活動推進事業へ振り替え）				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	巡視活動を行う人数		延べ人数	687	608	663	670	
		子どもと大人のまちぐるみ美化清掃		参加者	14,000	9,273	6,386	10,000	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		H23	H24		H25予算		
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	7,650		7,934			6,798
	事業費計	(A) (千円)	7,650		7,934			6,798	

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	少年育成センター事業：街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	少年育成センター事業：街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	少年育成センター事業：街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	少子化や核家族化などが広がり、地域連携の薄れや地域とふれあう機会の減少が指摘されるなか、非行防止活動や青少年健全育成活動をするためには、市内の各種団体・機関(55団体)で構成された市民団体への地域活動支援は欠かせないものである。また、商業店舗や地域の関係団体などが本事業に対して非常に協力的である。こうした地道な啓発事業は継続することが大切である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	平成24年度は小中学生の深夜徘徊が問題となったため、市内のコンビニエンスストアに協力を仰ぎ、深夜の時間帯に店内や入口付近で小中学生を発見した場合、学校に連絡するよう求めた。今後も関係機関・団体と情報交換を行い、課題等に迅速に対応したい。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4312	事務又は事業の名称	青少年センター管理			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ハード・ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が一般市民に		事業の目的	適切な施設管理を実施し、市民に快適な施設利用環境を提供する。			
	事業の内容	施設の維持管理及び運営		平成24年度 活動実績	施設の維持管理及び運営			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	利用者数	人		4,107	4,928	3,000	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	816	909	799			
事業費計 (A) (千円)	816	909	799					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	廃止に向けての各種調査及び調整を図る。	廃止に向けての各種調査及び調整を図る。	廃止に向けての各種調査及び調整を図る。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	施設廃止の方向へ調査・検討中、また周辺町内会と協議を実施(総務課)している。
	E	E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		施設廃止の方向で調査・検討中。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4313	事務又は事業の名称	野々市市立志式			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に		事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。					
事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。		平成24年度活動実績	講演会テーマ:「ネット社会の歩き方」						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	立志式出席者数	人		452	470	460			
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	38	56	50					
事業費計 (A) (千円)	38	56	50							

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	式典、講演会を通して立志式の意義や大人になる心構えなどを知る良い機会となっている。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	子どもたちの発達期に適したテーマ内容の検討。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4314	事務又は事業の名称	放課後子ども教室推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内1年生～3年生に		事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。					
事業の内容	◇野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 毎週水曜日25名◇御園小学校放課後子ども教室 毎週水曜日17名◇菅原小学校放課後子ども教室 毎週木曜日21名◇館野小学校放課後子ども教室 毎週木曜日35名◇富陽小学校放課後子ども教室 毎週水曜日25名◇こどもセンター放課後子ども教室 毎週月曜日11名		平成24年度 活動実績	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等(延べ3,714人参加)						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	教室数		室	10	6	6	6		
		参加人数(各教室平均25回実施/年)		人	5,250	3,664	3,714	3,700		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)		617	603	707				
		県支出金 (千円)		616	603	707				
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)		749	843	707				
		事業費計 (A) (千円)		1,982	2,049	2,121				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	異学年や親以外の大人との交流の場として、大切な空間になっている。野々市の歴史やモノづくりを学ぶことも取り入れているので、ののいちっ子の育成に役立っている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		地域ボランティアの人数が減少してきているので、新たな人材の発掘をしなければならない。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4315	事務又は事業の名称	公民館施設管理費			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ハード・ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
						終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が一般市民に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。						
事業の内容	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営		平成24年度 活動実績	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	利用件数	件	5,700	5,352	5,615	5,500			
		サークル数	団体	78	71	70	73			
事業のコスト	事業内 費	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)	450	500		550				
		一般財源 (千円)	49,079	71,211		82,049				
		事業費計 (A) (千円)	49,529	71,711		82,599				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市内、市外住民等問わず幅広い利用があり、今後も適正かつ計画的な維持管理・運営が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		中央公民館の建替え又は改修計画		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4316	事務又は事業の名称	公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)			所管	部	教育文化部	
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象(誰が・誰に)	市が一般市民及び市内勤務の方を対象に実施		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。					
事業の内容	中央公民館、文化会館、カメラア、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施		平成24年度活動実績	◇中央公民館:サークル展示、イベント、模擬店ほか【49団体505人参加】◇文化会館:芸能民謡祭【19団体282人】、音楽祭【17団体357人】、芸術文化協会作品展【669人入場】、茶席ほか【9団体223人】◇カメラア:美術文化協会展、チャリティダンスパーティ、各種イベント◇郷土資料館:文化財企画展、イベント					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	マナビィフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数	人	800	535	639	650		
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	1,450	1,200		1,200			
事業費計 (A) (千円)	1,450	1,200		1,200					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	中央公民館、文化会館、カメラア、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを	中央公民館、文化会館、カメラア、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを	中央公民館、文化会館、カメラア、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを	中央公民館、文化会館、カメラア、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	生涯学習の活動を行っている人に、発表の場と機会を提供するマナビィフェスタは有効な事業であり、活動の励みとなっている。会場となる施設の老朽化により高齢者には不便な場合もあるが、工夫しながら継続していきたい。
	B	B			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	チラシや芸能民謡祭や音楽祭のプログラムに各サークルの出演時間を掲載し集客拡大に努めた。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4317	事務又は事業の名称	公民館学習活動支援事業(寿大学事業)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民(大学)、寿大学の修了者(大学院)		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。					
事業の内容	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		平成24年度活動実績	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	大学校受講者数		人	42	42	46	46	
		大学院受講者数		人	195	137	140	136	
事業のコスト	事業内訳	区分		H23	H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	1,550		1,550		1,550		
	事業費計 (A) (千円)	1,550		1,550		1,550			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス 6コースの実施	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス 6コースの実施	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス 6コースの実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	寿大学校・大学院の開設は、熟年者や高齢者の生涯学習活動へのきっかけ作りである重要な事業であると考えます。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		今後事業の企画運営に市民の参画が必要と考える。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4318	事務又は事業の名称	公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)			所管	部	教育文化部	
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし						単独事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生(中・高校生も可)を対象に		事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。				
	事業の内容	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場		平成24年度活動実績	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:施設慰問、白山市青少年声楽コンクール参加(金2名、銀2名、銅1名入賞)、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	団員数	人	50	27	26	28		
事業のコスト	事業内訳	区分		H23	H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		300		300		300	
事業費計 (A) (千円)		300		300		300			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	定例活動日時:毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他:コンクール参加、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他:コンクール参加、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他:コンクール参加、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	児童合唱団というジュニアの文化活動の推進は、健全育成活動の中の重要な事業である。また、合唱団の運営の自立について、保護者と懇談したが、現状では公民館事業だから成立しており、事業からはずれた場合は消滅する可能性が大きいとのことから、当分は公民館事業として継続するのが望ましいと考える。
	E	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		今後も安定した団員の確保に努める。保護者会の発足による組織運営の強化。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4319	事務又は事業の名称	公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
						終了予定	**	年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が一般市民及び市内勤務の方に		事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。						
事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。		平成24年度活動実績	◇野々市公民館 13事業 664人 運動会1600人 ◇富奥公民館 10事業 320人 虫送り1300人運動会2000人 ◇郷公民館 12事業 475人 運動会 1180人 ◇押野公民館 16事業 875人 運動会 1000人						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	数値指標の設定になじまない								
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	4,500	4,500	4,500					
	事業費計 (A) (千円)	4,500	4,500	4,500						

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	各地区公民館では、地域に根ざした事業を実施し、住民のニーズに対応して企画され、町民に最も近い場所で生涯学習社会の形成を担っている事業である。今後も住民の学習ニーズと現代的課題を的確に把握し、講座の充実を検討していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		地域に根ざした事業を実施し、住民の学習ニーズと現代的課題を的確に把握し、講座の充実を検討していく。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4320	事務又は事業の名称	図書館運営・管理事業			所管	部	教育文化部	
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務	
								ソフト事業	
								単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
				事業開始	**	年度			
			終了予定	**	年度				
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	図書館法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が一般市民及び市内勤務・通学の方に		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する					
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等の業務。レファレンスサービス。移動図書館車の運行。学校図書館の支援及び連絡車の運行。図書館だよりの発行。		平成24年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会の開催</li> <li>・移動図書館車の運行</li> <li>・司書連絡会</li> <li>・チャリティ古本市</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	貸出冊数	冊	—	91,802	94,259	94,500		
		貸出人数	人	—	28,181	28,575	29,000		
事業のコスト	区分		H23		H24		H25予算		
	事業内訳	国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		17,564		19,698		19,134	
	事業費計 (A) (千円)		17,564		19,698		19,134		

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	図書の貸出、レファレンスサービスなど運営業務。移動図書館車の運行。学校図書館の支援。図書館だよりの発行。新図書館建設に向けた準備。	図書の貸出、レファレンスサービスなど運営業務。移動図書館車の運行。学校図書館の支援。図書館だよりの発行。新図書館建設に向けた準備。	図書の貸出、レファレンスサービスなど運営業務。移動図書館車の運行。学校図書館の支援。図書館だよりの発行。新図書館建設に向けた準備。	図書の貸出、レファレンスサービスなど運営業務。移動図書館車の運行。学校図書館の支援。図書館だよりの発行。新図書館建設に向けた準備。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	野々市市となって、市民からより充実した新しい図書館建設への要望が高まっている。建設に向けての運営体制や適切な建設場所の検討を進める。
	C	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	新図書館建設に向けた、市民協働に基づく運営体制の整備。 市内の公的・大学図書館との協力体制の強化。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4321	事務又は事業の名称	読み聞かせ推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画 子ども読書活動推進計画		根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が ①10か月児とその保護者に(ブックスタート) ②3歳児に(読み聞かせ) ③幼児～低学年児童に(お話し会) ④10代の若者に		事業の目的	子どもが自ら進んで読書を楽しむようになること。 子どもを取り巻く社会全体が連携して、子どもの読書を支えること。						
事業の内容	読書の素晴らしさを伝える。 子どもと絵本を読むことの楽しさや大切さを体験を通して親子に知ってもらおう。(ブックスタート)		平成24年度 活動実績	・絵本や紙芝居の読み聞かせ。 ・絵本と一緒に、「おすすめ絵本リスト」や「子育て情報」のちらしを渡す。(ブックスタート) ・読み聞かせボランティアスタッフの支援と活用。						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	活動日数(ブックスタート)		日	24	24	24	24		
		参加親子(ブックスタート)		組	—	595	665	690		
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		H23	H24		H25予算			
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	600		568		573		
	事業費計	(A) (千円)	600		568		573			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	絵本の読み聞かせ 絵本や絵本リスト等を渡す(ブックスタート) 読み聞かせボランティアスタッフの育成	絵本の読み聞かせ 絵本や絵本リスト等を渡す(ブックスタート) 読み聞かせボランティアスタッフの育成	絵本の読み聞かせ 絵本や絵本リスト等を渡す(ブックスタート) 読み聞かせボランティアスタッフの育成	絵本の読み聞かせ 絵本や絵本リスト等を渡す(ブックスタート) 読み聞かせボランティアスタッフの育成

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	子どもへの読み聞かせのきっかけを作り、親子が自発的に読書を楽しみたいという心を養うことは必要である。赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむようになったという声もあり、継続すべきと考える。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		子どもの発達段階での読み聞かせの重要性を啓発しながら、施策を推進していく必要がある。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4322	事務又は事業の名称	子どもチャレンジ活動支援事業			所管	部	教育文化部	
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生対象に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。					
事業の内容	◇夏休み体験プログラム:夏休み期間中に市内大学の協力を得て講座を開催 ◇学びの教室:地区公民館でのものづくり体験の教室を開催 ◇青少年自然体験:自然の中での体験教室の開催		平成24年度 活動実績	◇夏休み体験プログラム(4講座50名) ◇学びの教室(4教室 各9回 75名) ◇自然体験(2回 22名)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	事業を見直し中であり数値指標の設定に なじまない							
事業の コスト	区分		H23		H24		H25予算		
	事業内 訳	国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		680		550		200	
事業費計 (A) (千円)		680		550		200			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。		事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供することは有効な事業である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		他の事業主体(情報文化振興財団)と協議しながら事業を見直していく。		

### ・(3-2) 学識経験者からの意見

寿大学校事業や市民大学校事業、各公民館の自主事業など、多様な形で生涯学習の場が提供されているのは望ましいことです。事業の内容については、市民のニーズに的確に対応したタイムリーなものを設けることに心がけていただきたいと思います。学びのサポーターの活用は、学校とは違った地域らしい学びの場を子どもたちに提供できる大切な機会であり、サポーターに関するデータベースの充実をお願いします。

家庭教育の充実を図ることは、人格形成の基礎であり重要なことと認識しています。様々な機会を活用し家庭での教育力を高めるための事業を進めていただきたいと思います。また、関心の薄い家庭からの事業への参加が少ないなどの課題もありますが、「ののいち元気家族三か条」など生活習慣の標語を活用し、各家庭に家庭教育の大切さを認識して頂くよう更に啓発を進めていただきたいと思います。

青少年の健全育成については、街頭巡視やweb巡視など少年育成センターの事業は市内の子どもたちの健全育成に繋がっていると思います。しかし、ラインなどコミュニケーションツールの使用によるいじめなどの新たな課題も生まれており、今後も関係機関や地域と連携しながら事業を継続していただきたいと思います。

図書館の事業については、幼児期からの読み聞かせなどは本との出合う重要な機会になると思います。さらなる事業の充実をお願いします。

公民館など施設については、女性センターの大規模改修、平成25・26年度には、(仮称)富奥地区防災コミュニティセンターの建設計画も進行中であり、今後も計画的に整備を進めていただきたいと思います。図書館の建設の検討については、地域性を活かした市民ニーズも考慮に入れて進めていただきたいと思います。

### ・(3-3) 今後の方針

- ① 市民大学校をはじめとする生涯学習事業に市民との協働や参画を進め、生涯学習による市民の自己実現を支援します。学習内容や形態については、市民ニーズの把握に努め、公民館主事会議等で情報交換を行いながら見直しを図ります。
- ② 生涯学習ボランティアの登録活用は市民協働を進める上で最も重要な事業であります。関係部署もしくは課と協力しながら課題を明らかにし、事業の改善を図ります。
- ③ 子育て世代が多い本市においては、家庭教育の充実を図ることは重要な課題です。家庭教育サポーターの活動やPTA等の育成団体の活動等を通して「ののいち元気家族三か条」の活用を図っていきます。
- ④ 青少年健全育成については、情報機器の発達とともに起きる新たな問題に対して、web巡視や研修等を通して、教育関係者の対応力を高めていきます。また、商業化が進む本市特有の課題の対策を積極的に講じていきます。
- ⑤ 図書館事業については、住民にとって親しみやすく、情報拠点として信頼される事業運営を目指していきます。また、子ども読書推進計画に基づき子どもたちが本と出合う機会の充実に努めます。
- ⑥ 生涯学習施設の改修を計画的に行います。新図書館の建設については、早期に基本構想づくりに着手できるよう準備を進めていきます。